

1. 産業振興に係る基本構想骨子案概要

1次産業（生産）

担い手育成と農作物のブランド化

- ・主要作物の品質向上、ブランド化
- ・ブランド化に向けた新たな振興作物の検討
- ・生産者ネットワーク形成
- ・新規就農の促進（二種兼業含む）

アグリテック等による 生産技術・体制の強化

- ・革新的栽培技術の普及促進
- ・産学官連携による農産物の生産性向上/
差別化のためのスマート農業導入
- ・産業振興の軸となる大学・研究機関やアグリ
テック企業の誘致

2次産業（加工）

高付加価値加工商品開発

- ・高品質な農産物を活用した加工食品の開発
(ex:CRAZYCIDER,プレミアムトマトジュース)
- ・農業者と市内事業者との連携
- ・消費者ニーズをふまえた開発支援
- ・テストマーケティング
(ニッコリーナ、Eager、A-factory他)
- ・農産物と連動したブランディング

フードテックの活用による高付加価値化

- ・大学や研究機関等と連携したフードテック技術の
開発、実証
(ex:米のたんぱく質を活用した加工商品開発)
- ・フードテック企業と連携し、新たな分野への利活
用や未利用資源の活用を検討し、事業展開を
模索

3次産業（販売）

拠点施設の整備

- ・食・農・観の活性化拠点
(農業、歴史、生業体験観光のハブ)
(地産地消レストラン)
(Craft food Factory、調理体験)
(特産品販売、マルシェ)
(商品開発Lab)
- ・消費者との交流体験拠点
(マルシェ出店農家との交流、食育)
(平川版キッザニアイベント開催)

販路開拓・ブランド化

- ・販売チャネルの開拓・多角化
(ふるさと納税、E C、実店舗、輸出)
- ・高級量販店等での提供
(成城石井、オイシックス等)

食・農・観による持続可能なサプライチェーンの構築

地域経済の持続的な活性化を実現

取組事例

【具体的取組み】地域一体型6次産業化について

◆地域の産業ポテンシャルを有機的に連携させる

【高品質農産物生産】



【加工品開発】



人の流れ

【観光開発・誘客】



モノの流れ

【体験・交流・販売】

